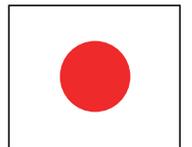


神・自然・人間は本来一体である “新しい文明”の基礎づくりを進めよう！



祝日は国旗を掲揚しましょう。

皇紀2681年
一長月一
9月号

発行所
生長の家両丹道場
舞鶴市宇北吸 497 番地
TEL (0773) 62-1443
FAX (0773) 63-7861
白地会 (0773) 63-5080
発行人 伊藤 夏樹
編集人 船木 悟

神の護りに感謝する祈り

生長の家総裁 谷口雅宣

私は今、神の御手に抱かれていて自分を観る。親様なる神の護りは完全に、いかなる不幸も災いも私に触れることはできないのである。私は今、神の御手に支えられ、揺りかごの中の赤子のごとく、安寧に満たされているのである。親様なる神の護りの揺りかごは、すべての悪業、悪念、悪感情の波を、柔らかく暖かく包み、善業、善念、好意の波に変える完全な防波堤である。私は今、神の大きいなる愛の庭に導かれ、緑の日差しの中で、愛らしい鳥のさえずりを聴き、美しい花々に囲まれている自分を観る。神の創り給いしすべてのものは完全なり。苦しみはなきなり。争いはなきなり。病も死もなきなり。神の大きいなる愛の庭では、すべての生物が助け合い、与え合い、鍛え合い、導き合つて、神の無限の知恵を表現している。神の無限の生命を表現している。神の無限の愛を表現している。私はそれを如実に感じ、知恵の目をもって見る。愛の心をもって完全に受け入れるのである。ああ、ここは神の世界なり。善一元の実相世界なり。極楽浄土なり。

『日々の祈り 神・自然・人間の調和を祈る』
十二〜十三頁)

災害に対する備え

京都第二教区教化部長 伊藤 夏樹

ある夜、自宅で予告もなく、まったく水道水がなくなりました。舞鶴に住んで四年を過ぎましたが、この間には体験したことのない、本当に久しぶりの緊急事態。入浴は済ませていたものの、水が飲めない、歯磨きができない、トイレの水も流せないなど、不自由な生活を強いられることになりました。突然のことに「うちだけか」「どこに連絡すれば」「水はいつ出る」「明日も出なかったらどうする」などと、お恥ずかしいことに混乱してアタフタしてしまいました。幸い電気は通っており、何かの不具合で自宅の水が止まっただけですが、事態がいつまで続くかわからない不安もあり、よく眠れない夜を体験することになりました。

しかし、ありがたいことに夜中に復旧作業が行われ、翌朝には洗面から始まる元の生活に無事戻ることができました。蛇口から出る水のなんともありがたかったこと。そして同時に、水が止まっただけで人間はこんなにも苦痛を感じるものかと思いました。普段に非常事態を想定して、その備えをしておく

の必要を実感しました。そしてこの時から私の家にも飲料水などの非常事態の備品が確保されるようになりました。

『信仰生活の神示』にも、「信仰生活とは無用意の生活ではない。すべてに於て完全に用意されている生活である。凡そ信仰生活ほど完全に用意されている生活はない。」と示されています。私たちが災害に備えることは決して「取越苦勞」ではないということです。

『明日のことを思い煩うな』と言う意味は『明日の用意をするな』と言うことではない。信仰生活とは冬が来てから綿入を縫えと言うような生活ではない。秋から冬に要る綿入を縫うて置いても、それは『取越苦勞』ではない。心が整えば秋から冬に要るものがちゃんと判つて、自然法爾に其の要る物を用意したくなるのである。『新しい文明』を築こう』上巻 二〇三頁)

台風シーズンを迎えています。今年これまでにも大雨土砂災害などの異常気象による災害のニュースが報道されています。自分の記憶する数年前に比べても、これだけ災害規模が大きくなり、明らかに頻繁に起こるよ

◎ 自然と共に伸びる運動 の実現のため、
神においてすべて一体 の宗教心を多くの人に広げよう！
◎ 第一線で「ネットフォーラム」を活発に開催して、壮年層会員の拡大と普及誌購読者・聖使命会員拡大の一年にしよう！



うになつてゐる状況にあつて、「平和の神を信じていますから」と何も対策をしないではいけないのは本当の信仰者とは言えないでしょう。上段の祈りにある「神の護りは完全」であることと「善一元の実相世界」を信じつつ、だからこそ、根本的対策として、異常気象の原因となつてゐる地球温暖化を防ぐために、私たちは日常生活をあらためると同時に、災害が起つてしまつた場合に備えて、被害を最小限に止めるべく協力し準備することも必要です。

ご存知の方も多いと思いますが、去る七月七日（八月二日、SNS自転車部、SNSオーガニック菜園部、SNSクラフト倶楽部の三つの生長の家プロジェクト型組織合同の取り組みとして、機関誌『生長の家』七月号に掲載されている「災害が起きる前にできる備え」を活用したネットフォーラム（逐次交流会）が開催されました。具体的内容は、災害に備える基本は、まずは自分や家族の命を守ることが出来る対策をしておくこととして、「ハザードマップを確認しよう」「防災リュックを用意しよう」「避難所まで行ってみよう」というもの。多くのメンバーがその体験を報告してました。私は休日を利用して、妻と二人でこの三点を確認してみました。「やつてよかつた！」いろいろのことがわかりました。居住する地域のどこが洪水と土砂災害などで危険かについてや、はじめに避難所への道順などが確認できました。自宅の防災リュックにスマホの充電コード、保険証のコピーなど足りないものがあることもわかり対応できました。おかげで大きく不安が解消されました。皆様も、是非、機関誌本年七月号「災害が起きる前にできる備え」を参考に確認を行うことをおすすめします。

〜長村婦美子先生感謝の集い〜

去る七月三十一日、生長の家両丹道場にて長村婦美子先生感謝の集いが行われました。

コロナウイルス感染拡大防止のため、五者の方以外はFacebookによるライブ配信にて参加していただきました。慣れないインターネットでのご参加ありがとうございました。



〜相愛会便り〜

七月二十日、大拝殿実相額前の「造化の三神」と七重塔の台座高さを調整しました。これは「実相の文字が明確に見えるように」との本部の指示によるもので、教区では相愛会が担当することになりました。製作者の藤原謙二さんに相談すると自費で電動ノコを購入して、新宮職員と調整してくださいました。実相額の高さも完璧に再調整され、ますます神殿が輝いて見えます。なお、この「造化の三神」と七重塔の台座前では実相礼拝の唱える言葉が変わります。台座前に「礼拝の際の言葉」が用意してありますのでこれを参考に、道場行事が再開しましたら、是非多くの皆様に参拝いただきたいと思ひます。

〜地方講師会だより〜

合掌ありがとうございます。地方講師・光明実践委員の皆様には、自然と共に伸びる運動の実現のためにご挺身頂いてますことを心より感謝申し上げます。

去る七月二十五日（日）十時〜十時五十分、地方講師・光明実践委員研修会ネットフォーラムを開催致しました。参加者は三十六名でした。その中で糸井洋子講師が普及誌の読みどころを紹介くださいました。素晴らしい発表ありがとうございました。また同研修の中で伊藤夏樹教化部長ご指導のもと、『生長の家』機関誌七月号谷口雅春先生の法語「コトバの力」の正しい使い方、谷口純子先生のご著書『森の日ぐらし』三十四頁、『新しい文明を築こう』（中巻）実践編一五八頁〜一五九頁、『造化の三神』の意義を勉強させて頂きました。

行事のご案内

令和三年九月度地方講師・光明実践委員研修会ネットフォーラム
日 時：令和三年九月二十六日（日）十時〜十時五十分

テキスト：会員必携書『新しい文明を築こう』上巻（基礎編）中巻（実践編）、谷口純子先生のご著書『森の日ぐらし』『生長の家』機関誌当月号、普及誌三誌No.139（十月号）

※活動報告書は新形式の用紙で毎月十日までに提出してください
ますようお願い申し上げます。





長村婦美子先生のお墓参り

7月31日10時～長村婦美子先生感謝の集いの様子が、Facebookの京都第二教区組織会員グループ上で配信されました。

その後、五者でお墓参りをしました。



9月度の対策部だより

普及誌購読者拡大

夏真っ盛りで暑い日が続いておりますが、誌友の皆さんは、元気にお過ごしのことと思います。また、普及誌をご愛読ありがとうございます。7月よりZoomを使った輪読会という新たな取り組みが始まりました。普及誌の明るい真理の記事を皆で読むことは、一人では気づかない新たな発見などもあり、とても楽しいものです。多くの人に開催や参加を呼び掛けて頂きたいと思います。特にスマホが使えない誌友さんにも、説明の為の集いが条件付きで許可(※)されましたので、積極的にご紹介頂きたいと思います。そして、Zoomによる輪読会を新たな交流の場として盛り上げ、普及誌購読者拡大にも繋げていきたいです。ご協力よろしくお願ひ致します。

No,137『白鳩』「白鳩歌壇」網野峰山総連：赤岩邦子様、

No, 137『いのちの環』「俳壇」綾部総連：大槻紀子様のご投稿が掲載されています。

(※) 詳しくは白鳩会事務局までお問合せください。

聖使命会員拡大

合掌、ありがとうございます。

「皆さんの力に於いて人類が光明化され救われてゆくということを考えると、ただそれだけでも行き甲斐を感じられるではありませんか。今後は皆さんの出資と力に於いて人類が光明化されてゆくのですから救われた人のその功德というものが皆さんの子々孫々に報いとして傳わります。皆さんの子々孫々の魂の上に善根功德として蓄えられるのであります。」

谷口雅春著 『神ひとに語り給う』 87頁より

支部・誌友会・会員

朝夕少しずつ涼しくなってきました。先日、お友達を訪ねました。気持ちよく白鳩誌を貰って頂き「いつも読んでるよ。」と、嬉しいお言葉。早く誌友会再開待ち遠しいですね。

〈うちんとこの誌友会〉

合掌、ありがとうございます。

今まで毎月開催していた誌友会が開催出来なくなって久しいですが、コロナの様子を見ながら時々集まってFacebookの動画をパソコンから見て貰っています。中には、耳の聞こえにくい方もおられるので、スピーカーを買い聞いて貰っています。最近では緊急事態宣言も解除された7月14日に、支部の方4名で、DVD鑑賞会と内容の説明をさせて頂きましたが、皆さんとても喜んで頂きました。今後コロナの状況をみながら交流を深めて行きたいです。

令和3年9月度行事予定

16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	日
木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	曜
〔道場休館日〕	〔白〕正副会長会議(10時)【ネットフ ォーラム】			〔相〕正副・地区連会長会議(13時)【ネ ットフォーラム】		五者会議(10時)【ネットフ ォーラム】	〔道場休館日〕	〔教区〕献労の日(10時)						〔道場休館日〕	聖使命感謝奉納祭	本部・教化部行事
																教化部長
休み	河合・船木	大西・河田	西村・藤原美	富永	近藤・藤原	伊藤教化部長	休み	河合・船木	大西・河田	西村・藤原美	富永	近藤・藤原	伊藤教化部長	休み	河合・船木	早朝行事担当

☆五者会議、各組織会議はネットフォーラムを予定しております。また、住吉神社月次祭、秋季慰霊祭・先祖供養祭はフェイスブックで会員へライブ動画を配信しておりますのでご利用ください。

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	日
木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	曜
〔道場休館日〕	教化部長講話ネットフォーラム(10時)			〔講〕地方講師・光実一日研修会(10時)及び同役員会・(10時50分)【ネットフ ォーラム】		〔道場休館日〕 23日分	● 秋分の日〔道場休館日〕 布教功労物故者追悼慰霊祭	● 秋季慰霊祭・先祖供養祭【ライブ配信】 普及誌仕分け	〔白〕総連会長・対策部長担当会議(10時30分)【ネットフ ォーラム】	● 敬老の日〔道場休館日〕		住吉神社月次祭(10時)【ライブ配信】		本部・教化部行事
														教化部長
休み	河合・船木	大西・河田	西村・藤原美	富永	近藤・藤原	休み	休み	河合・船木	大西・河田	休み	富永	近藤・藤原	伊藤教化部長	早朝行事担当

☆献納ありがとうございます。
 ・西村美知代 10,000円 河合 智暉 2,000円
 ・山本富美子 500,000円 柴田 文代 100,000円
 ☆祈い合い神想観献納ありがとうございます。
 20,500円
 ☆お賽銭ありがとうございます
 13,821円
 ☆生物多様性保全募金ありがとうございます。
 6,020円 敬称略

新型コロナウイルス感染拡大防止の対応について

京都府では8月20日から緊急事態宣言が出されたほか、日本国内及び全世界では感染者が後を絶たない状況です。道場ではこれまで通り、感染予防対策を維持していく予定です。ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力の程お願い申し上げます。